

# 防波堤を強靱化し、津波による人命・財産の被害を防止・最小化する（高知県高知市）

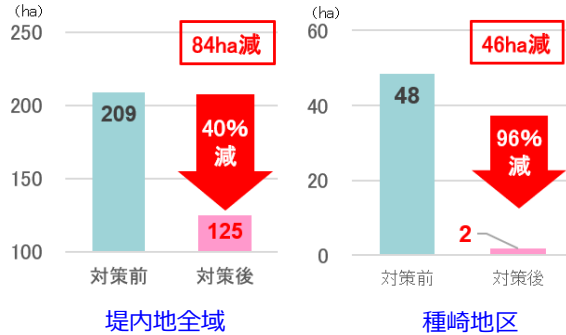
高知県  
事業者：国土交通省 四国地方整備局

## ■ 高知港周辺のL1津波浸水予測及び背後状況



## ■ 発現する効果

### レベル1 津波による浸水面積※の低減



※深さ2m以上の浸水面積  
※海岸堤防は整備済と想定

凡例

|   |           |   |                   |
|---|-----------|---|-------------------|
| ● | 災害対策用ハブ   | ⊗ | 高等学校              |
| + | 広域災害支援病院  | ⊙ | 大学                |
| + | 災害支援病院    | ⊕ | 発電所               |
| + | 救護病院      | × | 小・中学校             |
| — | 第1次緊急輸送道路 | ■ | L1津波浸水想定区域 (未対策時) |

## 対策名：6 港湾における津波対策

主たる施策グループ：1-3) 広域にわたる大規模津波による多数の死傷者の発生

事業名：高知港三里地区国際物流ターミナル整備事業等

- ポイント**
- 防波堤を粘り強い構造へと改良（防波堤の港内側に石材の追加設置等）することで、津波による防波堤の倒壊を防止
  - 津波による浸水面積が減少し、人命・財産の被害を最小化

### 地域の概要・課題

高知港が所在する高知市は、高知県全体の約47%の人口が集中し、病院などの公共施設が多数立地しています。また、高知港には耐震強化岸壁が整備されており、発災時の緊急物資輸送の拠点に位置づけられています。そのため、高知港では、防波堤と海岸堤防の整備を進めています。しかし、東日本大震災のような最大クラスの津波に対しては、既存の防波堤は倒壊する恐れがあるため、粘り強い構造に改良し、倒壊を防ぐことが求められています。

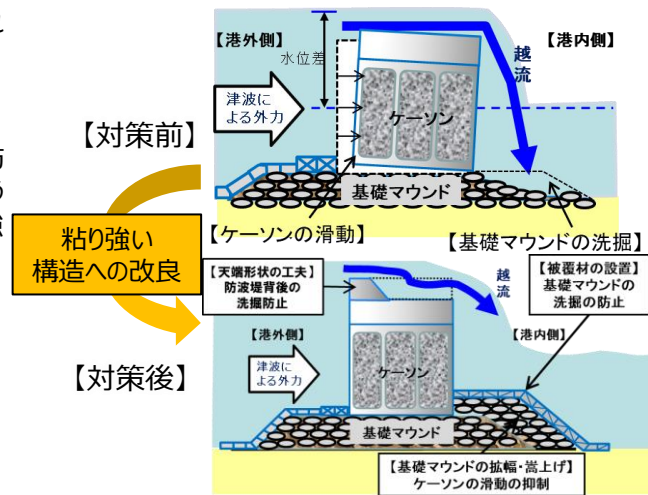
### 事業の概要

高知港の防波堤を整備するとともに、津波襲来時に防波堤の港内側の基礎マウンドが洗掘されることで生じる防波堤の倒壊を防ぐため、高知港の防波堤を粘り強い構造へと改良（石材の追加設置等）します。



### 見込まれる効果

防波堤の整備及び津波による防波堤の倒壊を防ぐための改良により、建物の倒壊を引き起こす深さ2m以上の津波の浸水面積が、堤内地全域では84ha（約40%）、津波の到達が早い種崎地区では46ha（約96%）低減されると想定され、背後住民の生命と財産を守ることが可能となります。



(1) 1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策  
人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 2 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 伝達の高速度化情報の予測、収集・集積